

1 年 A 組 外国語科 単元設計・学習指導案

指導者 河野 操

1 日時（場所） 2 月 1 日（月） 10:50～11:40（1 年 A 組教室）

2 単元設計（単元名:Lesson 9 A Letter from Australia）

(1) 本単元で育成したい自立と共生の力

- 物事を多様な観点から捉え、問題の本質を見抜く力
- 自分の気持ちや考えを表現し、伝える力
- 多様な価値観を認める力

(2) 単元目標

- 肯定文、疑問文、否定文を使って、過去の出来事についてやり取りをすることができる。
「知識及び技能」
- 本文を聞いたり読んだりして、内容を把握し、説明することができる。
「思考力、判断力、表現力等」
- オーストラリアについて得られた知識や情報をもとにして、意見や感想を伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

(3) 重点目標

<本質的な問い>

自分が伝えたい内容を正しく伝えるには、どのような表現を使ったらよいのだろうか。

<永続的な理解>

動詞の過去形には、規則動詞と不規則動詞があり、動詞を語形変化させなければならない。規則動詞は、動詞の語尾に-ed を付けるが、-ed の発音にはいくつかのパターンがある。また、基本的な動詞ほど不規則動詞が多いため、表現の幅を広げるためにも、不規則動詞の理解を定着させることは大切である。

(4) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
過去形の特徴やきまりを理解し、自分が考えたことや感じたこと、その理由などを、過去形などを用いて伝え合う技能を身に付けている。	友だちの意見等を踏まえた自分の考えや感想などをまとめるために、オーストラリアで体験したことをについて考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合っている。	友だちの意見等を踏まえた自分の考えや感想などをまとめるために、オーストラリアで体験したことについて考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合おうとしている。

(5) 評価の方法

パフォーマンス課題	その他の評価方法
あなたはある旅行会社の担当者です。旅行先の候補としてオーストラリアについて中学生の目線で紹介してほしいという依頼がありました。バーチャルトラベルを体験し、オーストラリアの魅力やおすすめのお土産について、パンフレットを見せながら紹介してください。	○課題追究状況の観察 ○ワークシート ○振り返りシート

＜パフォーマンス課題についての予備的ルーブリック＞

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	場面に応じた適切な表現や単語を用いて、聞き手に分かりやすく話すことができる。	感情表現や声色、抑揚などを上手に使い、オーストラリアの魅力を紹介することができる。	分からない単語や表現を教科書や辞書を使って調べたり、友達と相談しながら解決したりしようとしている。
B	誤りが一部あるが、場面に応じた適切な表現や単語を用いて話すことができる。	完成したスピーチ原稿を音読して紹介することができる。	分からない単語や表現を教科書や辞書を使って調べようとしている。
C	誤りが多く、場面に応じた適切な表現や単語を用いて話すことができていない。	完成したスピーチ原稿を見ても十分に紹介できない。	分からない単語や表現を調べたり、友だちと相談したりしようとししない。

(6) 指導計画（全 10 時間）

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	評価規準（評価方法）
1	・過去形（規則動詞）の肯定文の文構造を理解し、運用する。	知		・過去形の肯定文（規則動詞）の文構造を理解し、適切に使っている。 （ワークシート）
2	・過去形の疑問文、否定文の文構造を理解し、運用する。	知		・過去形の疑問文と否定文の文構造を理解し、適切に使っている。 （ワークシート）
3	・過去形（不規則動詞）の肯定文の文構造を理解し、運用する。	知		・過去形の肯定文（不規則動詞）の文構造を理解し、適切に使っている。 （ワークシート）
4	・Lesson 9A の内容を理解し、音読する。	思		・ベンの手紙の内容を理解し、概略をつかんでいる。 （ワークシート）
5	・Lesson 9B の内容を理解し、音読する。	思		・対話の内容から、オーストラリアの動物について概略をつかんでいる。 （ワークシート）
6	・Lesson 9C の内容を理解し、音読する。	思		・ベンスピーチの内容から、オーストラリアのユニークな動物について概略をつかんでいる。 （ワークシート）
7	・Lesson 9 のイラスト描写とサマリーをする。	思	○	・本文の内容を把握し、ピクチャーカードを使って、英語で概要を説明している。 （ワークシート）
8	・バーチャルトラベルについて手紙を書く。	知 思	○ ○	・オーストラリアの体験についての手紙を書いている。 （ワークシート）
9 本時	・手紙を読み、体験の内容を確認する。 ・オーストラリアについてやり取りする。	知 思	○ ○	・オーストラリアの体験についての手紙の内容を把握している。 （ワークシート） ・オーストラリアを話題に友だちとやり取りをしている。 （ワークシート）
10	・パフォーマンス課題に取り組み、オーストラリアの魅力を紹介する。	知 思 主	○ ○ ○	・課題に沿って、オーストラリアの魅力を分かりやすく紹介している。 （パフォーマンス）

「重点」は、重点的に生徒の学習状況を見取る観点を示しており、観点の略称は以下の通り。

知識・技能…「知」 思考・判断・表現…「思」 主体的に学習に取り組む態度…「主」

重点としていない観点についても、生徒の学習状況を評価し、教師の指導改善や生徒の学習改善に生かす。

3 本単元と研究主題との関わり

(1) 生徒について

本学級の生徒（男子 16 名，女子 16 名）の内，約 7 割が「日本語の文法と違うのが面白い」，「英語を使う場面を想像するとワクワクする」などの理由から，英語が好きであると思っている。また，英語の学習で身に付けたい力として，「相手とやり取りをしながら会話を楽しむコミュニケーション力」が多数挙げられていた。授業開始当初の英語の学習から，生徒たちは英語を話すことに対して抵抗なく取り組んでおり，知っている単語を自然に言える力が身に付いているように思われる。このことは，小学校での外国語活動の成果と捉えることができる。よって，小学校で慣れ親しんだ英語を「聞く」「話す」力を生かしながら，新出文型を体系的に学び語彙力を高め，表現力を向上させたい。そして，中学校の英語学習内容に主体的に取り組む態度を育成していきたい。

(2) 単元について

本単元では，新出文型として，過去形の肯定文（規則動詞・不規則動詞）と疑問文，否定文を学習する。過去の出来事を表すことができるようになるため，今まで以上に表現の幅が広がる。現在形との違いを確認しながら，動詞の語形変化に注意させ，様々な場面で表現できる楽しさを味わわせたい。

内容としては，ベンがオーストラリアに滞在し，滞在中に知ったオーストラリアの動物について，ヒロに説明したり，スピーチで紹介したりする設定になっている。オーストラリアは，本校 ALT の故郷であり，比較的馴染みのある国である。また，豊かな自然と固有の動物がたくさん生息しており，生徒にとって人気の高い国でもある。

このような興味深い題材を，学習した表現を用いてやりとりして楽しむことができるよう，次の二つの学びを保障したい。

ア 新出文型を使って過去の出来事を表現できる学び

小学校の外国語活動では，すでに過去形を学習し表現活動に取り組んでいる。中学校では，文構造の定着を図るために，過去形を使って正しく手紙を書いたり，長期休暇の思い出について報告したりすることができるようにさせたい。そのために，適切な場面設定を行い，今まで以上に，書いたり話したりする活動を充実させたい。

イ 異国に対する理解と違いを知る面白さを実感する学び

住んでいる国や地域によって，特有の生物がいたり，気候の違いがあったりすることに気付かせ，違いに対して柔軟に対応できる見方，考え方を養いたい。また，たとえ違いがあっても，共通して取り組むべき課題や守るべきものがあるという認識を持たせたい。

(3) 「深い学び」の実現に向けた指導の工夫について

「深い学び」では，「活用」「探究」「問題発見」「問題解決」「気付き」などが活動に含まれることが重要となる。主体的・対話的で深い学びを目指すためには，生徒が興味・関心のある題材について自分の思いや考えを伝え合う活動の設定が大切である。このような活動を設定するために，既有的知識や経験を生かしたり，すでに小学校の外国語活動で使用したことのある単語や表現を使わせたりしながら，特に次の点に留意したい。

新出文型の導入や内容理解の場面で，生徒同士，指導者とのやり取りを大切に，豊富なやり取りの場面を設定する。その際，5W1Hを使った質問をしたり，感想，意見，第一印象，想像したことなどを言わせたりしながらやり取りを進めることを意識させる。また，やり取りを充実したものにするために，「描写力」と「表現力」を向上させることが有効であると考え。そのために，授業の帯活動で，picture describing に取り組ませたり，教科書の挿絵について説明させる。そうすることによって，語彙が増えたり，表現の幅が広がったりして，本文の内容を自分なりにアレンジしながらまとめる力につながるとともに，Show & Tell のようなスピーチにも抵抗なく取り組むことができると考える。

教科書本文を活用した指導の工夫として，登場人物を自分と置き換え，体験したことを手紙に書く，体験したことをもとに質問も交えて対話する，体験したことを紹介するというように，教科書本文と同じ流れで言語活動を試みる。そうすることによって，新出文型の定着を図るとともに，語彙を増やし表現の幅を広げたり，より深く内容について思考したりする活動につながる。

4 本時の指導（9／10 時間）

(1) 主題 オーストラリアで体験したことについて、友だちとやり取りをしよう。

(2) ねらい

○バーチャルトラベルについての手紙の内容を理解することができる。

○オーストラリアの話題について友だちとやり取りをすることができる。

(3) 展開

学習活動（形態）	時間	○教師の働きかけ・予想される生徒の反応	○指導の工夫 ◎評価規準（評価方法）
1 Warm-up （全体）	5 5	○ALT の紹介を聞かせる。 ・ It's beautiful. ・ I want to go there. ○新出語彙ややり取りのための表現を確認させる。	○後のやり取りを活発にするために、ALT の説明を聞かせる。
学習課題：オーストラリアで体験したことについて、友だちとやり取りをしよう。			
2 内容理解 （個人）	15	○自分が書いた手紙を交換させる。 ・ メモを取りながら相手の手紙を読み、内容を把握する。 ・ 質問したいことを決める。	○内容を把握しやすくするために、できるだけ簡単な単語を用いて手紙を書かせる。 ◎手紙の内容を把握し、適切な質問を作っているか。（ワークシート）
3 話題についてのやり取り （ペア）	15	○オーストラリアを話題にし、自分の体験についてやり取りをさせる。 ・ 写真などを示しながら、見たり聞いたりしたことを説明する。 ・ 話した内容について質問したり、それに答えたりする。 ・ お土産を渡したり、やり取りを楽しんだりする。	○オーストラリアの話題をもとに、質問も交えて友だちとやり取りさせる。 ◎つなぎ言葉や質問を使って時間いっぱい話題についてやり取りができていくか。（観察）
4 活動内容を共有する （全体）	5	○興味深かった点やよかった点を発表させる。 ・ I'm very interested in Aboriginal culture. ・ I enjoyed talking about Australia.	
5 Reflection （個人）	5	○振り返りシートに取り組ませる。 ・ 本時の学習を振り返り、次回の活動に生かす。	○次時の活動に生かせるように、しっかりと振り返りをさせる。
授業研究 の視点		○教科書の内容をなぞって登場人物のように活動する学習展開の設定は、生徒のより深い思考や学びにつながったか。 ○教科書の題材を生かし既習事項を活用させることは、生徒の豊かな表現につながったか。	